

7月22日
(土)午後

公開シンポジウム

市民性涵養のための法学教育

—高校から大学へ—

2017年7月22日(土)13:00~17:45

(於) 日本学術会議講堂 (入場無料・事前申し込み不要)

「市民」にとって必要な法的素養とは？ 高校新科目「公共」と大学教養教育「法学」から 法学教育の課題と可能性を考える

「法学はわれわれの市民生活における規範を対象とすることから、その学修では何よりも市民性の涵養が基本となる」(日本学術会議「参照基準(法学)」から)

- 13:00~13:05 **開会挨拶** 二宮 周平 (日本学術会議連携会員、立命館大学法学部教授)
- 13:05~13:20 **趣旨説明** 市民性涵養と法学教育の課題
三成 美保 (日本学術会議第一部会員、奈良女子大学副学長)
- 13:20~13:45 **報告1** 新科目「公共」と法学教育
吉田 俊弘 (大正大学学長補佐・教育開発推進センター長・教授)
- 13:45~14:10 **報告2** ドイツの中等教育における法学教育
松本 尚子 (日本学術会議連携会員、上智大学法学部教授)
- 14:10~14:25 **コメント1** 新科目「公共」に盛り込むべき労働法テーマ
浅倉 むつ子 (日本学術会議連携会員、早稲田大学大学院法務研究科教授)
- 14:25~14:40 **コメント2** 新科目「公共」と弁護士の参加
鈴木 啓文 (弁護士、くれたけ法律事務所)
- 14:40~14:50 **休憩**
- 14:50~15:15 **報告3** 新しい教養教育における市民性涵養の課題
理系教育にとっての法学教育
小林 博司 (日本学術会議連携会員、大阪大学理事・副学長)
- 15:15~15:40 **報告4** 全学共通教育アクティブ・ラーニングとしての法学教育
東北大学の実践から
糠塚 康江 (日本学術会議第一部会員、東北大学大学院法学研究科教授)
- 15:40~16:15 **報告5** 市民性涵養のための基礎法学教育の可能性
三成 賢次 (日本学術会議連携会員、大阪大学理事・副学長)
- 16:05~16:20 **コメント3** 市民性涵養のためのジェンダー法学教育
南野 佳代 (日本学術会議連携会員、京都女子大学法学部長)
- 16:20~16:35 **コメント4** 医療者養成教育と市民性涵養のための法学教育
小澤 隆一 (日本学術会議連携会員、慈恵医科大学教授)
- 16:35~16:40 **休憩**
- 16:40~17:40 **総合討論**
司会: 小森田 秋夫 (日本学術会議連携会員、神奈川大学教授)
武田 万里子 (日本学術会議連携会員、津田塾大学学芸学部教授)
- 17:40~17:45 **閉会挨拶** 稲 正樹 (日本学術会議連携会員、国際基督教大学前教授)
総合司会: 糊澤 能生 (日本学術会議連携会員、早稲田大学法学学術院長)

主催: 日本学術会議法学委員会「市民性」涵養のための法学教育システム構築分科会
共催: 科研費基盤研究(A)「ジェンダー視点に立つ『新しい世界史』の構想と『市民教養』としての構築・発信」(代表: 三成美保)
後援: 法と教育学会、ジェンダー学会、法学会、民主主義科学者協会法律部会
会場: 日本学術会議講堂(東京都港区六本木 7-22-34) 地下鉄千代田線乃木坂5出口下車すぐ
問い合わせ先: kaken-atagi cc.nara-wu.ac.jp を@になおしてご連絡ください。